

## 報告書（社会貢献活動）

### WBC CARES JAPAN IN 鹿児島大会

日時：7月28日（日）

14:00 受付、検診、計量

15:00 開会式セレモニー

競技開始

17:50 終了

場所：鹿児島市かんまちあ多目的ドーム

試合役員：山本博、古田、岩崎、姫野、野田、恵良、棚町、小池、斎藤（ドクター）

参加者：60名

#### 【詳細】

地元の要望・熱意でWBC CARES JAPANを今回開催いたしました。自治会の協力のもと夏祭り（同かんまちあ公園内）も合わせて開催となり会場は熱気に包まれていました。山本博氏の開始MCで盛り上がり、ボクシング教室、小学生・障がい者（車イス）ボクシングをはじめ、元世界チャンピオンの福原辰弥氏のミット打ちや技術指導などを観覧、体験した子どもたちの笑顔がとても印象的でありました。

本戦では、アマ時代に具志堅用高氏を破った地元鹿児島の英雄である内山昇氏(70歳)と隣県宮崎の長老である萩原利文氏(79歳)の一戦もありました。内山氏は鹿児島県連理事、萩原氏は日本アマチュア連盟宮崎県理事長を務めています。共にアマチュアを代表する対決ということで多くの応援団が集まり、第一試合から大いに盛り上がりを見せました。その後、花束とメダル贈呈セレモニーを行い、続けて今大会の収益の一部をリング上で寄付する贈呈式を行いました。（小池が実行委員会代表としてアマチュア鹿児島連盟に手渡し）

その後、試合は大声援の中順調に進み、体調不良者や怪我人を一人も出さず無事終了いたしました。熱中症対策として参加者全員にスポンサー提供の飲料水を配り、数試合ごとに水分補給の時間を設けて会場内にアナウンスを徹底しておりました。また、野外ドームの会場内に大型扇風機や氷柱を複数設置したことで、応援に来ている小さなお子様や高齢者の方々も体調不良はなく無事に終えることができました。

今回の大会は地元の方々の評価が高く、地元の地域おこしに是非来年も開催をしてほしいと熱烈なご要望を頂きました。非常に地元鹿児島のボクシング熱を感じた大会でありました。

本大会の様子は、地元のテレビニュースや新聞、SNS等で取り上げられております。なお、本会でのチャンピオンベルト写真撮影会は山本博氏の呼びかけのおかげで募金額は全額で36,625円となり、社会福祉法人鹿児島県身体障がい者福祉協会の全額寄付をいたしました。

以上



